



## 未来を拓く、GSP！

今から20年前の2004年を振り返ると、日本の出生数は110万人であるのに対し死亡数は102万人で、まだ人口が増加している時代でした。日本のGDPは世界第2位で、6位につける中華人民共和国の2.5倍の規模でした。

一方、昨年の2023年は出生数が75万人で、死亡数は159万人。日本のGDPは世界4位で、2位の中国の4分の1の規模です。このような変化はある程度予想されていたものではありませんが、予想をはるかに上回るものであるというのが実情です。さらには、新型コロナウイルスの流行やAI技術の目覚ましい進歩もあり、今後の社会がどうなるか正確に予想できる人はほとんどいないでしょう。

では予想もつかない20年後に社会に役立つ人材となっているためにはどうすればいいのでしょうか。その答えを探すための場として本校ではGSPを開講しています。多様な学問分野の最先端に触れ、一流の社会人と交流を持つことで見識が広がり、将来の展望が少しずつ開けていくはず。直接自分の目で見て、直接自分の耳で聞いたことを足掛かりにして、国際社会で活躍することができる、個性豊かな人間に成長してくれることを期待しています。

## 自分の選択が自分の人生をつくる

GSPでは、生徒の皆さんが参加する講座を自由に選択することができます。昨年度の卒業生の中には、GSP講座を受講して初めて看護師という職業が身近になり、医療系の国公立大学に進学した生徒もいます。他にも、外国人講師の講座で国際関係に興味を持った生徒や模擬裁判を通して法曹の世界を志した生徒もあり、GSPでの経験が皆さんの人生に影響を与えることがあるのです。百聞は一見に如かずと言いますから、まずは参加することから始めてください。

### 【高大連携プログラム】

大学から講師を招いて模擬講義を実施していただいたり、大学施設を訪問して実験に参加させてもらったりします。中にはオープンキャンパスに参加して本校卒業生に話を聞くことができる講座もあります。進学する学問分野を選択するのに最適です。



### 【国際理解プログラム】

英語4技能はもちろんのこと、韓国語や朝鮮語など語学に関する講座や、異文化理解・多文化共生に関する講座を展開します。学校で英語検定を受検できる講座や海外の映画を英語音声・英語字幕で視聴する講座もあります。



### 【キャリア教育プログラム】

職業人をお招きして話を聞き、職業観を育成します。また、校外で社会体験を積んだり、幅広い教養を身につけたりすることもできます。進路実現に向けて補習を実施することも、キャリア教育に該当します。



# GSP JOURNAL

2024年度第0号

2024年4月15日